



師匠顔写真IMG 4773

釣り天国で知られる伊豆南部、中でも幾つものポイントがあり、季節ごとに豊富な種類の魚を狙える下田港。ほとんどの場合、堤防の「竿頭」として釣果を誇り、釣りを心から楽しんでいるのは、南伊豆町在住の高橋一満さん74歳です。



IMG 4797



IMG 4785

釣り好きが高じて伊豆南部に移住してくる人も多し中、高橋さんは地元の生まれ。学校を卒業し、東京で大工修行を終え、地元に戻って棟梁として働いて来ました。今、仕事は息子さんに譲って、釣り三昧といきたいところながら、昔のお客さんから修理や増築の依頼が舞い込み、忙しい毎日を送っています。今はもっぱら堤防釣りですが、たまに磯に出たら足腰の強さが光ります。大工仕事で鍛えた体幹とバランス感覚で都会の若い人に比べても恐らく3倍のスピードで磯の岩を乗り越え移動します。まるで忍者のようです。



IMG 4782



IMG 4795

高橋さんは元々世話好きですが、釣り好きの人には輪をかけて親切です。初心者の人にも基礎から丁寧に教えてくれます。高橋さんの釣り仲間も同様です。この日ナマコ採りに来ていた仲間の人も、正月に下田に来た若い女性に竿の投げ方を実演指導(写真左上)。通常カマスが釣れる寒い時期ですが、この日はカタボシワシが大漁で高橋さんも思わず笑顔がこぼれます。(写真右上)



[1515392699758](#)

[IMG 4800](#)

この日の釣果は、高橋さんがこの上なく愛するサバを始め、ムロアジ、カタボシイワシ、コノシロなどでした。食べ方は色々。刺身、フライ、塩焼き、煮付け、酢の物などなどお魚尽くし。何と言っても釣れたての魚は最高ですね。高橋さんも「この土地にいる限り、趣味と実益を兼ねた釣りは最高！」と、釣りは元気の源のようです。

取材：生きがい特派員賀茂地域担当 福居 通彦